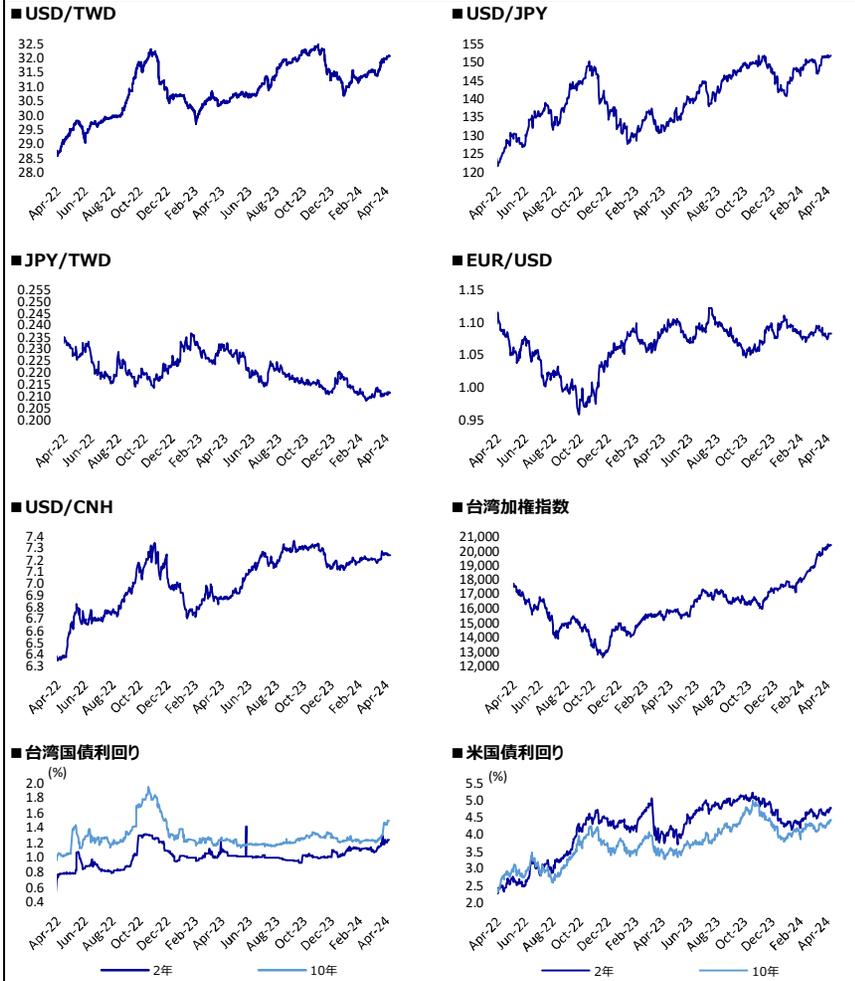


市場動向



先週の市場動向

■ USD/TWD
先週のドル/台湾ドルは上昇。週初4/1は31.920でオープン後、週央より台湾の連休を控える中、方向感に欠ける展開となり31.90台後半で揉み合いの推移。4/2は前日海外時間に発表された米3月ISM製造業景況感指数が市場予想を上回っていたことを受けて、ドル買いが進み32.06近辺まで上昇。その後も海外投資資金送金が見られ、ドル買い圧力根強く32.08近辺まで上昇した。4/3は前日海外時間に発表された米2月製造業受注が市場予想を上回っていたことを受けて、ドル買い圧力が強まり一時32.095まで上昇した。しかしその後は、輸出業者による外貨売りが見られた他、引けにかけては上値を押さえる動きが見られ、32.07近辺で上値重く推移した。最終的には前週比0.2%増高台湾ドル安の32.057で先週の取引を終了。週間の外国人投資家の株式売り越し額は137.1億台湾ドル。

■ USD/JPY
先週のドル/円は上昇。週初4/1は151.25でオープン後、海外時間に発表された米3月ISM製造業景況感指数並びに支払価格指数が市場予想を上回る堅調な結果となり、ドル買いが進み151円台後半まで上昇。4/2は米金利が上昇していたことを背景にドル買い圧力が残存し、151円台後半で底堅く推移。4/3は発表された米3月ADP雇用統計が市場予想を上回る結果となったことを受けてドル買いが進み、一時151.955まで上昇。しかしその後、米3月非製造業ISMが市場予想を下回る結果となり、ドルが売り戻され151.60近辺で揉み合いの推移。4/4は海外時間に発表された米新規失業保険申請件数が前回対比増加していたことを受け、雇用市場の悪化が警戒され、ドル売りが優勢な展開となり151円台前半まで下落。4/5は「植田日銀総裁、物価目標達成の確度が高まれば追加利上げを検討」との報道がなされ、円短期金利が上昇。円買いが進み一時150.81まで下落した。海外時間に入ると、発表された米3月雇用統計が市場予想を上回る結果となり、米金利が上昇する中ドルが大きく買い戻され151円台後半まで上昇。最終的には前週比0.2%増高円安の151.64で先週の取引を終了。

今週の見通し

■ USD/TWD 予想レンジ：31.950-32.250
今週は揉み合いの推移を見込む。米景況感が堅調な中、ドル買い圧力は残存しやすいものの、輸出企業による外貨売り需要や、上値を押さえる動きが見られる中、売り買い交錯となるであろう。

■ USD/JPY 予想レンジ：149.00-152.00
今週は上値の重い推移を見込む。日銀による追加利上げや、財務省からの為替介入への警戒感が高まる中、152円の節目は意識されやすく、円は売られづらいであろう。

今週の予定

4/8 (MON)	
4/9 (TUE)	台湾3月CPI
4/10 (WED)	日3月企業物価指数、台湾3月貿易収支、米3月CPI
4/11 (THU)	米3月PPI
4/12 (FRI)	米3月輸入物価、米4月ミシガン大学消費者信頼感指数

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなされるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。